

# ふるさと Something NEWS

## 第6回

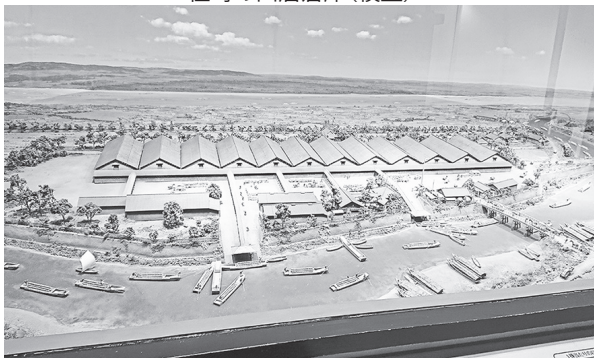
### 北へ、南へ、日本国へ ——(その二) 酒田の旅

一般社団法人 光楓座  
efco.jp 代表理事 佐藤建吉

#### 旅は南へ

JR北海道のスーパー特急北斗13号で函館を発ち、北海道新幹線はやぶさ30号で新青森まで、在来線特急つがる6号に乗り換え大館を通り秋田まで、つぎに羽越線で酒田まで、また乗り換えて鶴岡までが、3月10日の旅程。8時間の鉄道の旅は、東京から函館への一直線の旅とは鉄道車両、路線、地域事情が異なるエコツーリズムを体験した。

往時の山居倉庫(模型)



5俵の米俵を背負って運搬



酒田といえば本間家、入港したという。北前船

日本一の地主であった。北前船で年貢米を運び財

で天下の台所大坂はじめ全国とつながった様子が

我が国に大きな変革が起きた。尊王攘夷論、公武

函館発の特急は混んでいたが、北海道新幹線の席は空席がほとんど。函館から上京する人は飛行機が多いため、また青函トンネルを超えて青森への用件がないためだろう

か。が、新青森で乗り換えた秋田行きは在来線特急は混んでいた。夕方の秋田→酒田の普通列車は座席定員通り。夜の酒田

瀬戸内海へ大坂(いまの大阪)へ。江戸までの長距離の西廻り航路もあった。

駅中の観光案内所で、情報を得た。まず、観光案内には必ず載っている「山居倉庫」へ。明治維

新、戊辰戦争と論争や策略や闘争があつて、最終兵器を装備していたという。そのためか、新政府

の現実を、知らされた。

鶴岡駅前のホテルに宿泊。翌朝は小雨模様であったが、昨夜通った酒田に出かけた。

現在でも使われている。コンベアのない時代、船との米の荷運び

は、庄内藩主を迎える施設で、立派な日本庭園を望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鶴岡駅前

代、船との米の荷運び

望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

鶴岡駅前

代、船との米の荷運び

望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

鶴岡駅前

代、船との米の荷運び

望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

鶴岡駅前

代、船との米の荷運び

望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

鶴岡駅前

代、船との米の荷運び

望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

鶴岡駅前

代、船との米の荷運び

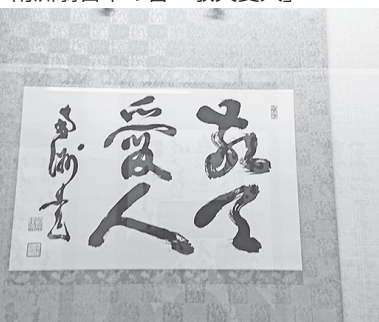
望む座敷にも多くの離人形が飾られていた。なか

は、幅2間、8壇の座舞の地であった。東北

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

#### 酒田北港風力発電

酒田には、も一つ気になることがあった。酒田北港は日本のオンシヨア風力発電の端緒でもある。現地には灯台を兼ねた展望台がある。筆者は、ナセルの真下に展望室を持つ大型風車を設置する提案を、国連防止会議や学



南洲翁自筆の書「敬天愛人」

「南洲翁遺訓」である。情勢が落ち着いた1890年(明治23年)のこと。この遺訓を無料頒布している庄内南洲会の会員でもある筆者は、庄内南洲会の本拠地を訪ねた。同地には、「南洲神社」がある。同神社は、1976年(昭和51年)に設置された。境内には南洲翁と庄内藩中老の菅実秀が並ぶ銅像がある。また「敬天愛人」の石碑が鎮座している。

当時は、副理事長と面談し、資料や逸話をお聞きした。この地では、西郷先生や南洲翁と呼ぶ。の普及に努めている。南洲翁の自筆の書はじめ多くの資料がある。鹿児島では空襲で多くを焼失したので、現存資料の点数は、庄内南洲会はじめ庄内の方が多いという。同会では、毎月、遺訓の素読と講究の行事を行っているが、地元と相談し、いつの日か実現したいと、夢を膨らませ、酒田の旅を終えた。

#### 連載・蓄電池

#### 酒田と言えば本間様

本間家別邸「清遠閣」

は、庄内藩主を迎える施設

今回訪ねた函館、鶴岡

#### 酒田と北前船

鶴岡駅前

鹿児島での西郷の教えを纏めて出版したが、

#### 庄内南洲会

鹿児島での西郷の教え

を纏めて出版したが、